

花と蝶



🌸 渡り蝶アサギマダラの飛来 🌸

美しく繊細な蝶 山を越え谷をこえ海を渡り まさに自然界の神秘そのものです
人はみな自然界のいとなみに感嘆し 生きとし生けるものへの感動と
慈しみが湧き上がってくることでしょう…



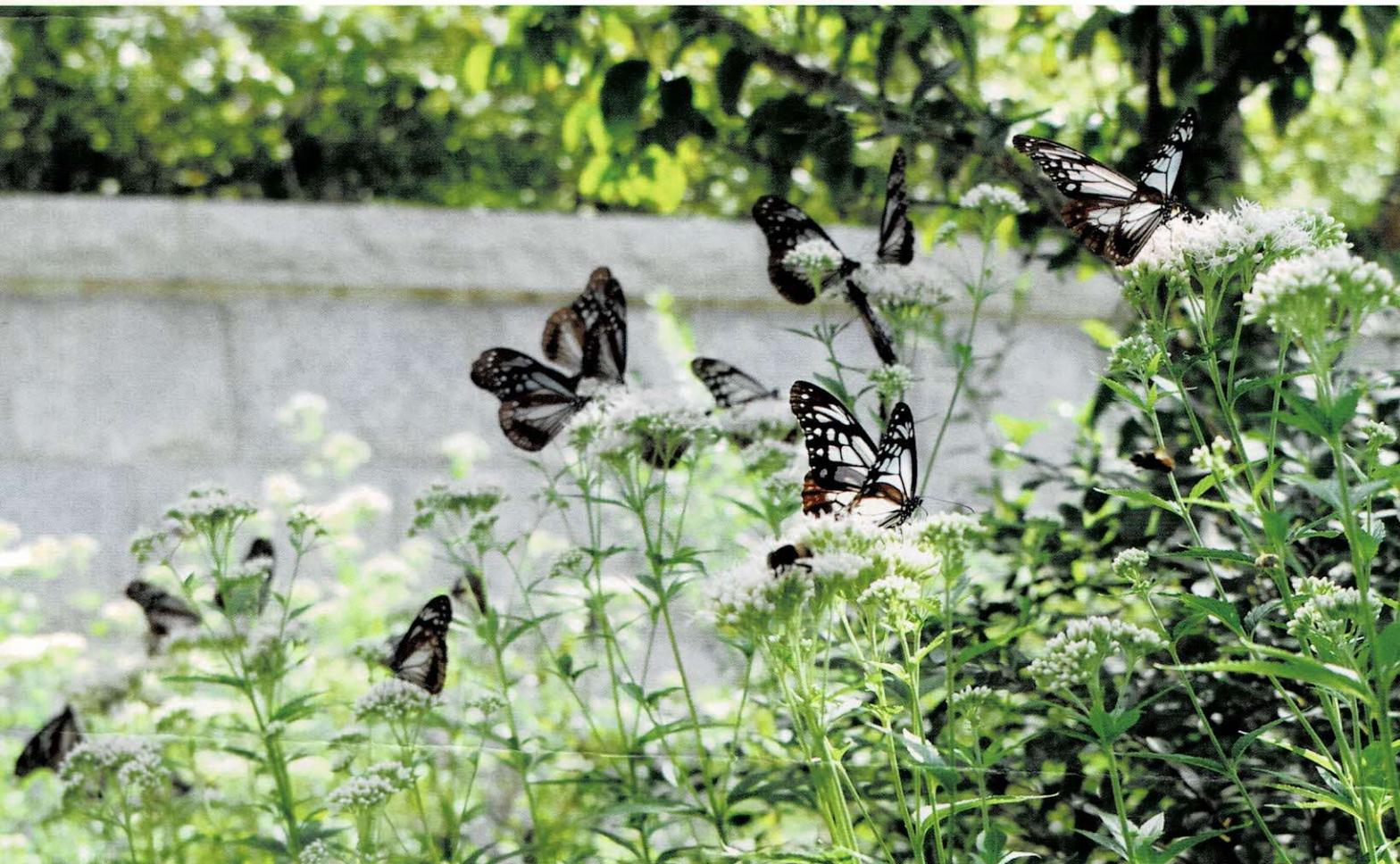
▲ 毎年10月上旬～中旬ごろ 摩耶山を訪れるアサギマダラ。フジバカマの花の蜜を吸って、しばしの安息の時を過ごし、さらに南への長い旅へ飛び立ちます



▲翅を広げたアサギマダラ。翅の白い部分は透けて見える



▲翅を閉じたオスのアサギマダラ



▲フジバカマの花に群がり蜜を吸うアサギマダラ。

(写真撮影：上内玲子)

アサギマダラ(浅葱斑)

タテハチョウ科の蝶。開張10cm前後。翅の白く見える部分は鱗粉が少なく半透明で、そこが光の加減によってはあさぎ色(淡い青緑色)に見えるところが名の由来になっている。春には北へ、秋には南へと長距離を移動する渡り蝶。秋に南下する蝶は海を越え、はるか南西諸島や台湾にまで渡る。翅に記号や数字を書くマーキング追跡調査によると、2000km以上移動するものもいるという。幼虫の時にガガイモ科の有毒植物を体内に取り込むため、鳥に食べられない。成虫はフジバカマ、ヒヨドリバナ、アザミなどの花の蜜を好む。オスにのみ、翅を閉じた時に後翅(尾の先に近い部分)に濃い褐色の斑(性斑)が見られ、雌雄の区別がつく。

花につかまり雨がやむのを待っているアサギマダラ▶

